

「山手通り」の遊歩道公園としての整備について（継続）

江戸時代にはすでに堤村から下久方村までを結ぶ道路として存在していたと云われる「山手通り」は、ファッションタウン桐生推進協議会主宰の「2001わがまち風景賞」にも選定されるなど、大変に趣のある通りであります。

特に美和神社を起点として西久方町方面に伸びる約200mの歩道には、往時をしのばせる水路、石造りの欄干も現存しており、周りには桜・柏などの樹木も多数あることから、四季折々の風情を楽しむこともできます。また、桐生新町重要伝統的建造物群保存地区、桐生が岡動物園・遊園地から歩ける距離にあり、これらと一体化した観光コースを設定することは観光客誘致による活性化にもつながると思われます。

以上の理由により、また、現存部分が多く残っており、費用もそれほど要しないと思われることから、山手通りの遊歩道公園としての整備につきまして、早急に取り組んでいただきますよう要望いたします。

【桐生市からの回答】

美和神社周辺の「山手通り」につきましては、平成30年1月23日に国の認定を受けた「桐生市歴史的風致維持向上計画」の重点区域に位置しており、その周辺地区の地域特性を活かしながら歴史的景観に配慮した整備や、桐生が岡動物園・遊園地から桐生新町伝統的建造物群保存地区へ誘導するなど、総合的な検討を行い、また、地域の皆様の意見を伺いながら、整備の方法などについて検討してまいりたいと考えております。

【回答担当】都市整備部都市計画課歴史まちづくり係